

ノッポ3号は、お手伝いロボットです。家の中の、いろいろな仕事を、どんどん、お手伝いしてくれれます。そうじ、せんたく、料理に、かたづけ。何でも、たのめます。

さて、これから始まるのは、たかし君という男の子の家で働いている、ノッポ3号のお話です。

「ただいまー」 たかし君が、学校から帰ると、台所から、ノッポ3号が出てきました。

「オカエリナサイ。」 ノッポ3号は、かんたんな言葉なら、話せます。

「あれ？ ノッポ君、ママは？」

「ママサンハ、魚屋ニ、オカイモノデス」

「ふーん：ねえ、今日、おやつ、なに？」

「トダナノ中ニ、ドーナツガ、イマス」

たかし君が、クスクス笑い出しました。

「います、じゃなくて、あります、だよ」

ノッポ3号の言葉は、ときどき、まちがっているので、たかし君が、なおしてあげます。

「ドーナツガ：アリマス」

たかし君は、ノッポ3号の言葉の先生なのです。



1 ノッポ3号は、どんな仕事を手伝ってくれれますか。

2 これから始まるのは、どこで働いているノッポ3号の話ですか。

3 たかし君は、ノッポ3号を、何と、よんでいますか。

4 ノッポ3号は、どんな言葉なら、話せますか。

5 「おやつ、なに？」と、いったのは、だれですか。

6 たかし君は、どうしてクスクス笑い出したのですか。